

2020年2月期  
決算説明資料

サインポスト株式会社



2020年4月24日

---

# 目次

---

1. 2020年2月期 決算概況
2. 2021年2月期 業績見通し
3. トピックス

---

# 1. 2020年2月期 決算概況

## 1-1. 2020年2月期 事業運営方針(4月公表)

- コンサルティング事業を着実に成長させるとともに  
無人AIレジ事業を積極展開
- リスク管理等事業の広がり合わせた経営態勢を確立

### 〔コンサルティング事業〕

金融機関を中心とした幅広い顧客からのニーズに応えるべく体制を整備

### 〔ソリューション事業〕

バッチ処理高速化ソリューション「ユニケージ」等の既存ソリューションの提供  
サインポスト独自の文字認識ソリューションを展開

### 〔イノベーション事業〕

無人AIレジの導入を加速するための経営施策を迅速に実施  
社会問題である人手不足の緩和を企図

無人店舗技術の開発競争激化を受けて第2四半期に方針を見直し

# 1-2. 2020年2月期第2四半期からの重点施策

## 無人店舗技術の市場環境

- 人手不足の深刻化
- 人件費の高騰
- 店舗運営の効率化・省人化技術のニーズの高まり

## 競争環境

- 無人店舗技術の多様化
- 技術開発競争のグローバル化
- 業界スタンダードを狙った開発競争の激化

## 中長期的な成長を目指す取り組みに集中的に経営リソースを投下

### ■ 成長の源泉

他社に先駆けて無人AIレジを完成させる  
導入検討企業に無人AIレジをスピーディーに提供する

### ■ 取り組み

イノベーション事業の体制強化  
JR東日本スタートアップと合併会社 TOUCH TO GO(略称:TTG)を設立

# 1-3. 2020年2月期 決算ハイライト ～前期比～

(単位:百万円)

	2019年2月期	2020年2月期	前期比	概要
売上高	2,684	2,122	△21.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イノベーション事業に優先的に人員を配置</li> <li>・ 研究開発費の増加</li> <li>・ 東証一部上場に関する費用の計上</li> </ul>
コンサルティング事業	2,348	1,946	△17.1%	
ソリューション事業	319	175	△45.3%	
イノベーション事業	16	0	△96.3%	
営業損益	272	△176	—	
経常損益	269	△207	—	
四半期純損益	203	△260	—	

# 1-4. 2020年2月期 決算ハイライト ~計画比~

(単位:百万円)

	2020年2月期 計画 (9月27日公表)	2020年2月期	計画比	概要
売上高	2,150	2,122	△1.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>無人AIレジの開発加速を優先</li> <li>イノベーション事業に優先的に人員を配置</li> <li>研究開発費の減少</li> </ul>
コンサルティング事業	2,000	1,946	△2.7%	
ソリューション事業	150	175	16.7%	
イノベーション事業	0	0	—	
営業損益	△228	△176	—	
経常損益	△258	△207	—	
四半期純損益	△305	△260	—	

---

## 2. 2021年2月期 業績見通し

## 2-1. 2021年2月期 事業運営方針

- ◇金融機関向けのコンサル及びソリューション事業を安定的に成長
- ◇当社とTTGによる無人AIレジの拡販及びAI応用製品の開発・販売
- ◇事業領域や会社規模の拡大に伴う経営管理態勢の高度化

### 〔コンサルティング事業・ソリューション事業〕

- ・金融機関を中心とした業務改善ニーズに迅速、かつ幅広くお応えするために、コンサルティングとソリューション事業を一体運営
- ・コンサルティングサービスについては、プロジェクトマネジメント等引き合いが強く、かつ当社の強みである領域を中心に展開
- ・ソリューションサービスについては、既存のバッチ処理高速化「ユニケージ」等に加えお客様のニーズにお応えする新規サービスを展開

### 〔イノベーション事業〕

- ・経営資源を全体コントロールの下で集中的に投下し、無人AIレジの拡販を推進
- ・独自AI技術の応用や他社との業務提携等により、お客様の業務改善に資する製品・サービスを開発し販売

新型コロナウイルス感染拡大の影響を注視しつつ、  
主力事業の成長とイノベーション事業の展開をはかる

## 2-2. 2021年2月期 業績見通し ～前期比～

(単位:百万円)

	2020年2月期	2021年2月期 計画	前期比	備考
売上高	2,122	2,305	8.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>•コンサルティングサービスとソリューションサービスを一体的に提供し、さらなる顧客拡大を目指す</li> <li>•新型コロナウイルスの小売業界への影響が不透明なため、イノベーション事業部の売上は保守的に見積り</li> <li>•研究開発費を積み増し</li> </ul>
コンサルティング事業	1,946	2,100	7.9%	
ソリューション事業	175	200	14.2%	
イノベーション事業	0	5	—	
営業利益	△176	△370	—	
経常利益	△207	△375	—	
当期純利益	△260	△378	—	

---

## 3. トピックス

## 3-1. ワンダーレジの導入実績

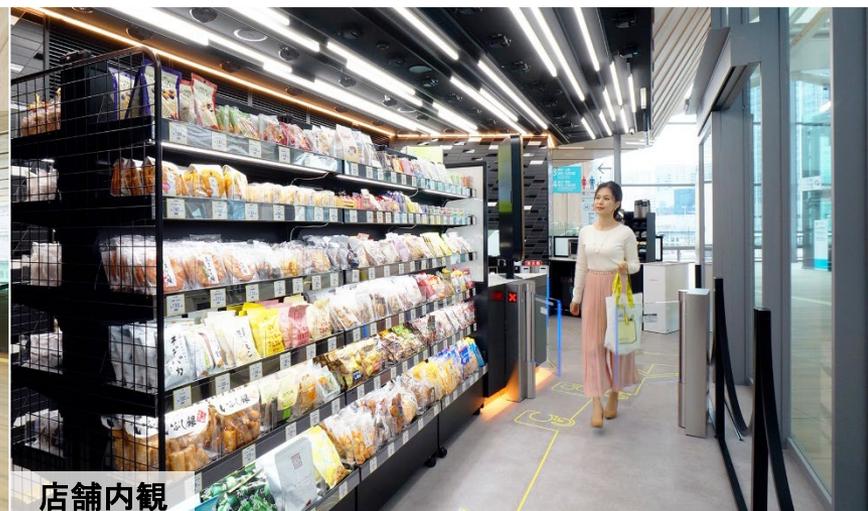
時期	場所	用途	概要
2019年4月～	(株)JCB 高田馬場オフィス (東京都新宿区)	社内売店、弁当販売 デリ(食堂)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 無人販売により、売上高の増加と省人化を達成</li> <li>• 習慣的にワンダーレジを利用</li> </ul>
2019年4月～	生活彩家 貿易センタービル店 (東京都港区)	お弁当などのエクス プレスレーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 一般の方が利用可能なワンダーレジ</li> <li>• 常設により操作方法が一般利用者にも浸透</li> </ul>
2019年12月	昭和電エドーム大分 (大分県大分市)	大分トリニータホーム ゲームでグッズを販 売	<ul style="list-style-type: none"> <li>• めいぐるみやタオルなどを認識して販売</li> <li>• イベント会場での混雑緩和を検証</li> <li>• イベントスタッフの不足を補う</li> </ul>
2020年2月～	トッパン・フォームズ(株) 本社 (東京都港区)	社内売店	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 販売で業務提携するトッパンフォームズの社内売店に設置</li> <li>• トッパンフォームズ社員の理解促進を通じて販売活動の強化をねらう</li> </ul>
2020年中 (予定)	ナンモダ百貨新冠本店 (北海道新冠町)	地元の野菜の販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バーコードの無い野菜などを販売</li> <li>• 現金での支払いに対応</li> <li>• 過疎地域でのスタッフの採用難を解決</li> </ul>

## 3-2. 無人AI決済店舗 TOUCH TO GO オープン

- TTGによる無人AI決済店舗の第1号店を高輪ゲートウェイ駅にオープン
- 販売機会の拡大と省人化の仕組みとして、小売店舗への販売を企図



店舗外観



店舗内観

### TOUCH TO GO概要

場所	JR高輪ゲートウェイ 2階改札内
開店日	2020年3月23日
営業時間	7:00~19:00(土日祝日を除く) ※4月24日現在
面積	約60㎡
取扱商品	弁当、総菜、菓子、飲料等600種類
決済方法	交通系電子マネー(順次拡大予定)



- ・ 商品を手にとって無人決済
- ・ ストレスなくスムーズにお買い物

---

## 本資料の取扱いについて

本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は、金融市場の動向、経済の状況、競合の状況の他、様々な要因によって見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

当社は、これらの情報を最新のものに随時更新するという義務や方針も有しておりません。また本資料を利用した結果生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

孫の代まで豊かな社会を

